

12月20日(日)、AIFA レフェリーアカデミー研修会を知多市勤労文化会館、松屋地所フレッチフィールド人工芝で行いました。今回の研修会は「動きとポジショニング」の中でも対角線式審判法を意識し、横に幅広く動くこと(以下、オープンレフト)について座学研修と実技研修を行いました。

前半はインストラクターの問いかけに対し、参加審判員同士で意見を交わしながら、講義を進め、理解を深めました。後半はフィールドにてプラクティカルレーニング(試合の一場面を切り出し、反復練習すること)を行いました。今回の実技研修には地元・常滑高校サッカー部の生徒のみなさんに選手役としてご協力いただき、より実践を意識した取り組みを行うことができ、大変貴重な機会となりました。また、今回の私たちの取り組みを常滑高校サッカー部 HP でも取り上げていただきました。ご協力に感謝申し上げます。

サッカー部 ―活動ブログ(令和6年7月～) - 愛知県立常滑高等学校

審判委員会ではこれから本格的に審判活動をやっていきたい、上級を目指して頑張りたいといった方に対し、各種研修会を開催しています。興味をお持ちの方はお気軽に愛知県サッカー協会にお問い合わせください。

【参加者の感想】

神邊良明3級審判員

前半の座学研修では、多くの審判員が課題としている「幅のある動き」を出すために大切なことは何かを考え、ディスカッションを行いました。また、映像を見て、どの位置にどのように動けば争点を良い位置で監視できるかを考えたり、「オープンレフト」を行うことでどのように視野が変化するかを、画像や映像を見て実感したりすることができました。

午後の研修では、地元の高校生にも協力して頂き、「オープンレフト」を意識したプラクティカルトレーニングを行いました。「オープンレフト」を行い、視野を広げてフィールド上の様々な情報を得ることの大切さを実感する事ができました。また、審判員同士で感じた事や考えた事を話し合いながらトレーニングに取り組むことで、他の審判員が試合中にどのような事を考えて動いているのかを学ぶことができました。今回の研修会で学んだ事を、次のシーズンで遺憾無く発揮できるよう準備していきたいです。最後に、このような研修会を計画、実施して下さった関係者の方々、本当にありがとうございました。

